

## がん予防のススメ Vol.69

大腸がんの早期発見のために  
大腸がん検診を受けましょう



徳島大学病院 消化器内科 講師  
おかもと けんいち  
岡本 耕一氏

大腸がんは、日本人女性のがん死亡原因の1位であり、2020年の男女合わせたがん罹患数で1位となることが予測されています。一般に、根治可能な大腸がんでは自覚症状がありません。そこで、無症状のがんを発見するためには大腸がん検診が重要となります。しかし、徳島県の大腸がん検診受診率は、令和元年度の全国調査においても平均を大きく下回っています。大腸がん検診は、問診と便潜血検査によって行われ、簡単に受けられます。早期大腸がんの約50パーセント、進行大腸がんの約80〜90パーセントで便潜血反応が陽性です。内視鏡治療や手術によって根治できる大腸がんを発見するために、40歳を過ぎたら年に1回は大腸がん検診を受けましょう。



徳島大学病院 がん相談支援センター  
がんの相談はこちらへ 相談窓口 Tel.088-633-9438

がん診療連携センター  
<http://www.tokudai-ganrenkei.jp>



徳島がん対策センター  
<http://www.toku-gantaisaku.jp>